

資料	
----	--

奥州市 景気動向調査報告書

実績：平成22年1月～3月期

見通し：平成22年4月～6月期

奥州商工会議所

平成22年 6月

奥州市景気動向調査報告書

— 平成 22 年 6 月調査結果 —

〔 実績：平成 22 年 1 月～ 3 月期
見通し：平成 22 年 4 月～ 6 月期 〕

■調査期間：平成 22 年 4 月 1 日～4 月 16 日

■調査目的：奥州市全体の企業景気動向を四半期ごとに把握し、地域産業の振興並びに経営指導の参考に資することを目的として実施する。

■調査機関：奥州商工会議所・前沢商工会

■調査方法：奥州市全体の把握のため、奥州商工会議所本所、江刺・胆沢・衣川各支所及び前沢商工会会員事業所の中から、業態・規模を勘案して抽出した 500 事業所に対するファクシミリによるアンケート調査(無記名方式)。
(水沢 359 事業所 江刺 87 事業所 胆沢 21 事業所 衣川 8、前沢 25 事業所)

■回収状況：調査対象先 500 事業所のうち、297 企業からの回答を得た。(回収率 59.4%)

業 種	調査依頼企業数	回答企業数
小売商業	50	37
卸商業	50	29
機械工業	50	35
総合建設業	50	31
運輸交通業	50	28
金融保険不動産業	50	26
宿泊飲食業	50	17
理美容サービス業	50	34
食品繊維工業	50	27
専門建設業	50	33

■判断方法：業況・売上高・営業利益・資金繰り・在庫高については、日本商工会議所 [LOBO 調査] の算出方法を基準に、D I 値を用いて判断する。
その他の調査項目については、実数値による判断を行う。

「D I」(diffusion index=デフュージョン イデックス)
景気動向指数を集め景気全体の動きを表す工夫をした指数であり、特に言及のない限り、前年同期に比べ「増加・好転」したとする企業の割合から「減少・悪化」したとする企業の割合を差し引いた数値である。
 $D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

要 約

—穏やかながら持ち直しの動きが見られる状態—

今期の管内商工業の景況（全産業実績 DI）は、業況 DI、売上高 DI、営業利益 DI、資金繰り DI 借入状況 DI で数値が前回より改善、在庫高 DI で数値が前回よりも悪化という結果となった。

数値だけで判断すると前回調査より回復傾向で、この回復の数値は調査対象の 10 業種の合計値を示したもので、これを業種別に分析すると格差がはっきりと表れている。

業種別の景況（全産業実績 DI）は、「小売商業」「機械工業」「総合建設業」「運輸交通業」「金融保険不動産業」「宿泊飲食業」「理美容サービス業」で前回 DI 値よりも改善、「卸商業」「食品繊維工業」「専門建設業」は前回 DI 値より悪化となった。

予想 DI 値（全産業）については、在庫高 DI 値が若干マイナス傾向の他は DI 値が前回より改善の数値を示している。

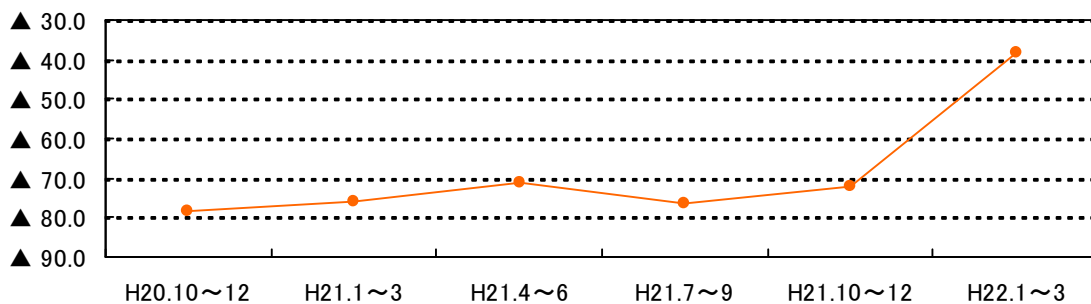
今期のキーワード 『持ち直し動きあり』

（1）業況判断 DI

前回比で見ると、全体では▲38.3（前回▲72.0）と前期よりもマイナス幅が減少した。前回調査で悪化した DI 値が、今回再び回復に転じている。

向こう 3 ヶ月（4 月～6 月）の先行き見通しについても、全体で▲66.7（前回▲75.4）と数値が回復している。

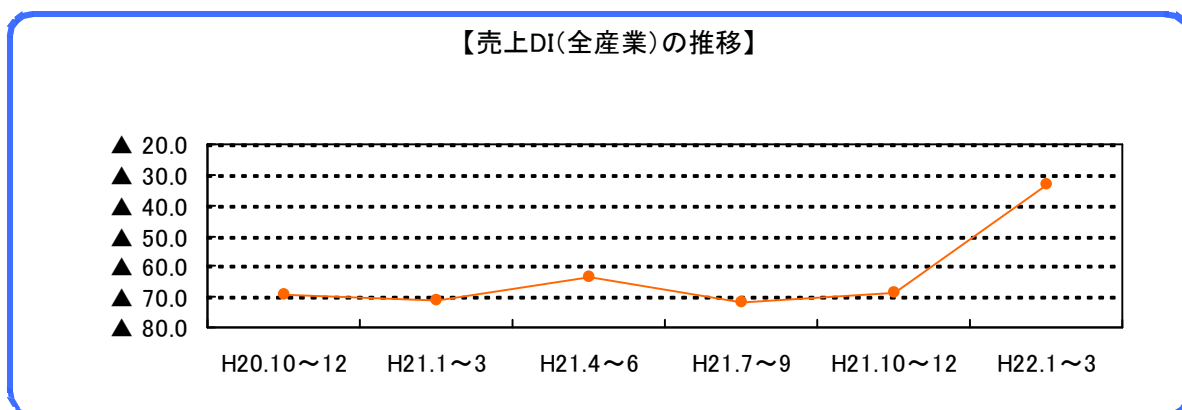
【業況DIの推移(全産業)】



(2) 売上高DI

前回比で見ると、全体では▲33.0（前回▲68.9）と前回数値から回復した。産業別に見ると「専門建設」で数値が悪化した以外は数値が改善した

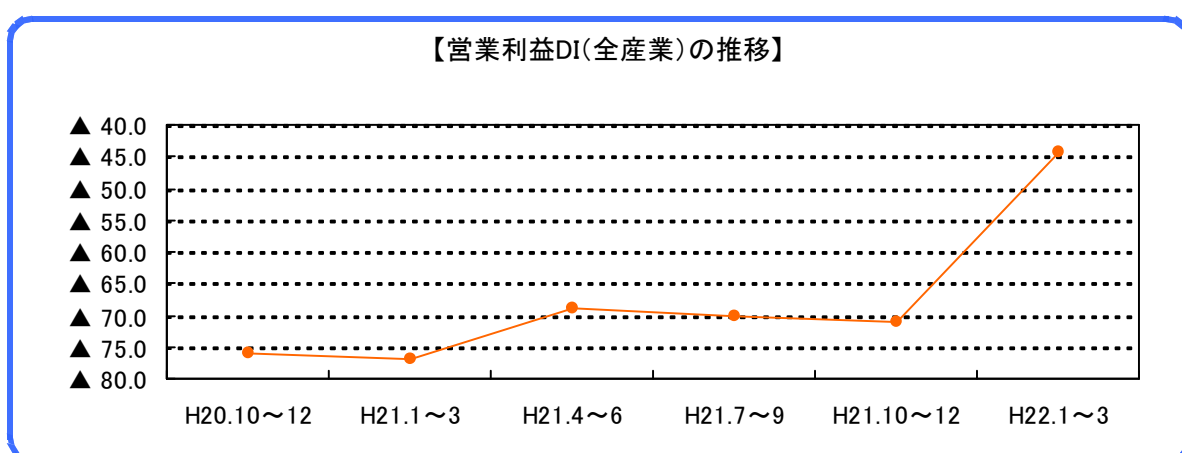
向こう3ヶ月（4月～6月）の先行き見通しについても、全体で▲64.5と前回の数値▲70.3よりも回復している。



(3) 営業利益DI

前回比で見ると、全体では▲44.4（前回▲71.0）とマイナス幅が減少した。産業別に見ると、「小売商業」「機械工業」「総合建設業」「運輸交通業」「金融保険業」「宿泊飲食業」「理美容サービス業」「専門建設業」で数値が改善、「卸商業」「食品繊維工業」で数値が少し悪化した。

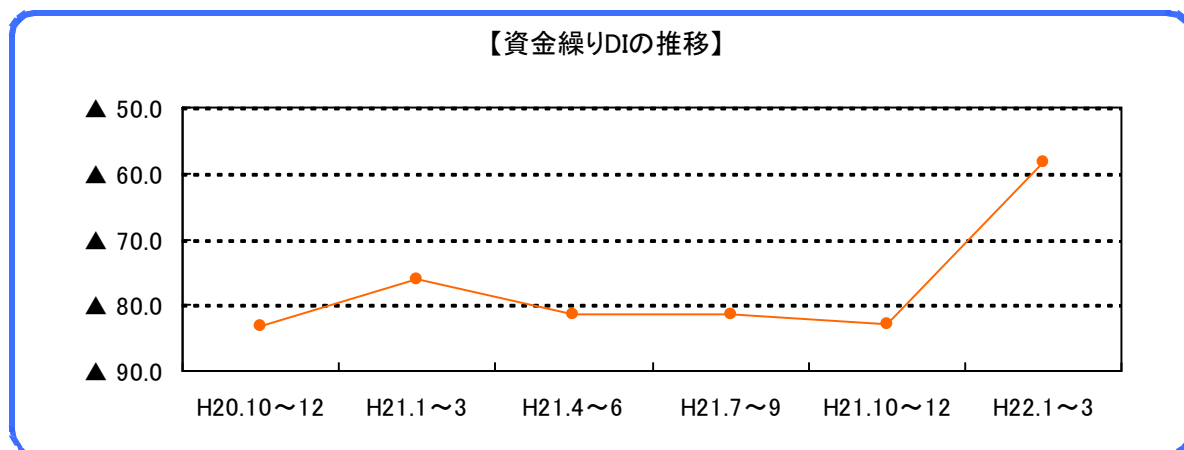
向こう3ヶ月（4月～6月）の先行き見通しについては、全体では▲71.1と前回の数値▲78.2よりも改善している。



(4) 資金繰りDI

前回比で見ると、全体では▲58.4（前回▲82.8）となり、マイナス幅が減少した。「食品繊維工業」「専門建設業」で数値が悪化した以外は数値が改善した。

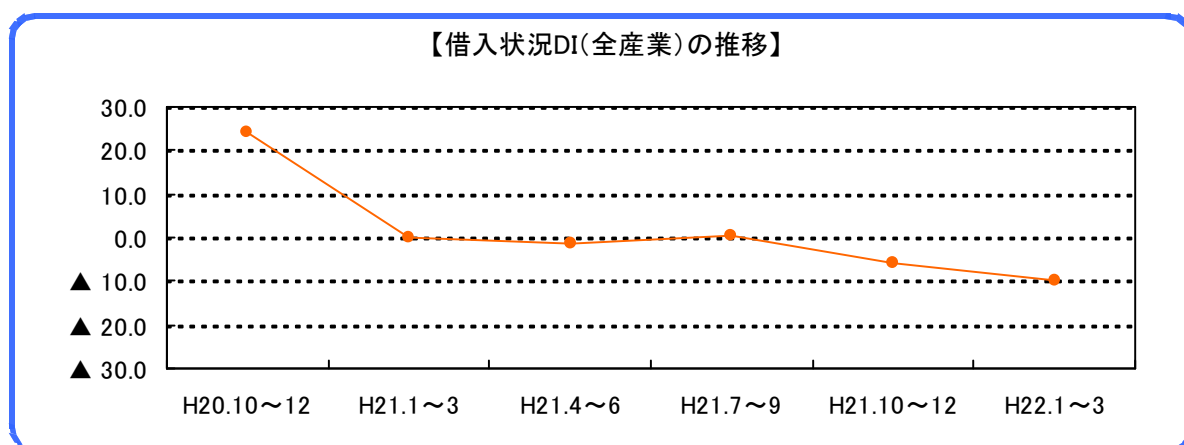
向こう3ヶ月（4月～6月）の先行き見通しについては、全体では▲74.8と前回の数値▲81.8から改善した。



(5) 借入状況DI

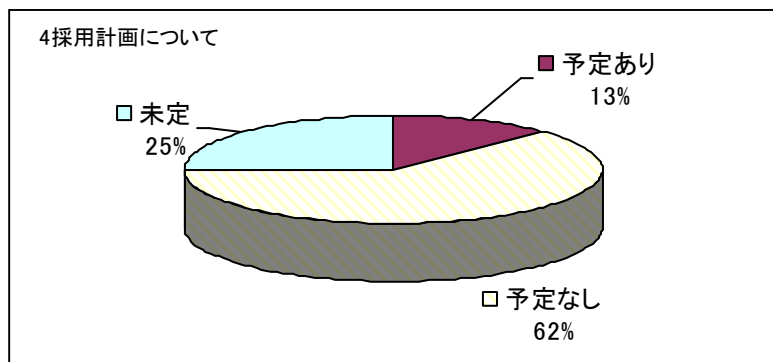
前回比で見ると、全体では▲9.8（前回▲5.7）とマイナス幅が増加し、借入額が減少している。DI値の推移では前々回、前回と借入額が減少してきている。

向こう3ヶ月（4月～6月）の先行き見通し（借入環境）は、全体では6.1と前回の▲14.3に比べると改善の数値になっている。



(6) 雇用状況

従業員の数については、適正であると判断している企業が72%、多いと感じている企業が17.7%、少ないとしている企業が10.3%となっている。採用計画については、雇用状況の悪化が企業にも波及しており、「予定なし」62.2%、と「未定」25.3%を併せた割合が87.5%と全体の8割強を占める結果となっている。



(7) 自由意見

(小売商業)

- ・販売価格は益々低下しており、無駄な経費を社員一丸となって少なくしてやっとやっと営業利益を黒字にしている状態です。
- ・仕入値が高くなっているが、スーパーその他の店で安く売っているので品物の値段を高く売る事が出来なくて困っている。

(卸商業)

- ・量販店の価格競争は、以前にも増して激しくなっている。相場を無視した売価の設定も昨今はあたりまえに行われている。もはや持久戦の様相を呈しているといっても過言ではない。当社としても、しっかりと方向づけを定め着実な経営を心がけていきたい。
- ・エコ関連商品に力を入れています。
- ・わずか乍ら受注量は増加しているが、まだ目標最低数値には達していない。又、5月から原材料の大巾な値上げが決定している状況では、先行きは暗いと思うまだまだ余談を許さないと思う。
- ・商社プラスグリーン環境事業プラス計量証明事業（水の分析等）の三位一体事業を展開中。

(機械工業)

- ・仕事の受注に波があり集中して残業の月があったり、売上にも波があり資金繰りに四苦八苦状態です。
- ・原材料（鉄鉄・スクラップ）が再度高騰、受注若干回復も利益を出すのは厳しい。
- ・受注量が伸び悩む中、ユーザーよりコストダウン要請が来ているが、鋼材の値上がりが起こり、製品単価が下がる中、材料仕入が上がっているため、利幅が縮減される一方である。
- ・市内に生産設備を有する企業への地元発注を徹底するよう奥州市に要望して欲しい。
- ・談合問題の影響が心配です。
- ・早期受注状況の把握と経費分析の強化。
- ・仕事が多い割に利益が少ない。

(運輸交通業)

- ・少し良くなったと思ったがまた仕事は減少してきた。
- ・幾分、節約のみではなく、安定性を求める指向にある。
- ・地方景況に回復感は遠く、企業に於ける復現化策は現にまだであり、軽油暫定税率撤廃、高速道路料金等期待していたが、期待通りに進んでいない。安全・環境他コストアップ要因ある中、收受運賃が上がらず、策が見えない。
- ・忙しい割には、中々売上増につながらないです。
- ・昨年と比較し、消防車の製作依頼が多く、その部分が貢献しているが、その他の面で前年をキープするのが精一杯である。一方で経費削減の成果が出ており、当期利益は改善されつつあります。

(金融保険不動産業)

- ・底を横バイしている感じがする。中国のバブル崩壊など2番底が予想される。足でかせぐ、コツコツやることに徹してる。

(宿泊飲食業)

- ・桜の花がさき、つつじの花がさき、連休が続くと、人の出が多くなります。
- ・売上高の増加は情報発信事業による宣伝効果であると思われます。
- ・昨年よりは少しお客さんが入っているような気がします。

(理・美容サービス業)

- ・水沢周辺の有効求人倍率も県下ワースト2であり、今後、景気が上向きとは期待しにくい。

(食品繊維工業)

- ・量販店閉店（タカトヨ本店）による売上減少による影響大
- ・1月、2月の売上高が特に悪化した為かなり苦しい3月あった。（仕入金が不足し、商品がつかれない。）
- ・景気は実感をしてかなり悪化している。末端の消費が伸びていない。政府の景気対策、成長戦略が見えて来ない。
- ・受注数量が多くなっているが小ロット多品種の指向が強くなっている。労働力を含め効率性に努めなければならない。
- ・不景気の影響で、のびはない現状です。新製品の引き合いがきていて、夏にむけて忙しくなりそうです。

(専門建設業)

- ・家電量販店、その他大型店の激安販売で、中小企業はどんどん価格競争に取り残されつつあり危機的状況です。この点を何とかして欲しい。必要性のある公共工事を小口でもっと沢山出してもらえば、お金が平均に市民に入り多少の経済効果が出てくるのでは？
- ・受注の激減のため、助成金を活用して従業員を休業させてしのいでいる

* 産業別業況調査結果

【全 産 業】

当期（平成 22 年 1～3 月期：以下同）の奥州市全体の全産業を通じての業況は前回調査よりも「改善」の傾向にある。産業別業況においては「小売商業」「機械工業」「総合建設業」「運輸交通業」「金融保険不動産業」「宿泊飲食業」「理美容サービス業」で数値が改善、「卸商業」「食品繊維工業」「専門建設業」で数値が悪化した。

来期（平成 22 年 4～6 月期：以下同）の全産業を通じての見通しは「改善」の見通しが示されている。産業別では「小売商業」「卸商業」「機械工業」「宿泊飲食業」「食品繊維工業」「専門建設業」で数値が改善、「総合建設業」「運輸交通業」「金融保険不動産業」「理美容サービス業」で数値が悪化した。

【1. 小売商業】

当期の業況 D I は▲60.0 と前回（▲100.0）より数値が改善した。項目別では、売上高 D I、営業利益 D I、資金繰り D I で数値が改善、在庫高 D I、借入状況 D I で数値が悪化した。

来期の見通しについては、業況 D I は▲88.9（前回▲91.7）と前回よりも改善している。項目別では借入環境 D I で数値が改善の見通し、資金繰り D I については前回同様の数値、売上高 D I、営業利益 D I、在庫高 D I は悪化の見通しが示されている。

【2. 卸商業】

当期の業況 D I は▲63.6 となり前回（▲52.9）より数値が悪化した。項目別では、売上高 D I、資金繰り D I、在庫高 D I、借入状況 D I で数値が改善、営業利益 D I で数値が悪化した。

来期の見通しについては、業況 D I が▲60.0 と（前回▲68.4）と前回よりも改善している。項目別では、売上高 D I、営業利益 D I、資金繰り D I、在庫高 D I で数値が改善の見通し、借入環境 D I は悪化の見通しが示されている。

【3. 機械工業】

当期の業況 D I は▲23.1 と前回（▲50.0）より数値が改善した。項目別では、売上高 D I、営業利益 D I、資金繰り D I、在庫高 D I、借入状況 D I で数値が改善した。

来期の見通しについても、業況 D I が▲11.1（前回▲30.0）と改善している。項目別では借入環境 D I で数値が改善、売上高 D I、営業利益 D I、資金繰り D I、在庫高 D I で悪化の見通しを示している。

【4. 総合建設業】

当期の業況 D I は▲46.7 と前回（▲87.5）より数値が改善した。項目別では売上高 D I、営業利益 D I、資金繰り D I で数値が改善、在庫高 D I は前回同様の数値、借入状況 D I で数値が悪化した。

来期の見通しについては、業況 D I が▲71.4（前回▲70.0）と数値が悪化している。項目別でも借入環境 D I で改善の見通し、在庫高 D I は前回同様の数値、売上高 D I、営業利益 D I、資金繰り D I で悪化の見通しを示している。

【5. 運輸交通業】

当期の業況 D I は▲40.0 で前回（▲87.5）より数値が改善した。項目別では売上高 D I、営業利益 D I、資金繰り D I、借入状況 D I で数値が改善、在庫高 D I で数値が悪化した。

来期の見通しについては、業況 D I が▲100.0（前回▲84.6）と数値が悪化した。項目別では売上高 D I、営業利益 D I、資金繰り D I、在庫高 D I は前回同様の数値、借入環境 D I で数値が悪化の見通しが示されている。

【6. 金融保険不動産業】

当期の業況D Iは▲23.1と前回(▲62.5)より数値が改善した。項目別では売上高D I、営業利益D I、資金繰りD Iについて数値が改善、在庫高D Iは前回同様の数値、借入状況D Iは数値が悪化した。

来期の見通しについては、業況D Iが▲77.8(前回▲62.5)と数値が悪化した。項目別では売上高D I、営業利益D I、在庫高D I、借入環境D Iで数値が改善、資金繰りD Iは前回同様の数値だった。

【7. 宿泊飲食業】

当期の業況D Iは▲50.0と前回(▲89.5)より数値が改善した。項目別では売上高D I、営業利益D I、資金繰りD I、借入状況D Iについて数値が改善した。在庫高D Iは前回同様の数値だった。

来期の見通しについても、業況D Iが▲25.0(前回▲90.0)と数値が改善した。項目別では売上高D I、営業利益D I、資金繰りD I、で数値が改善、在庫高D I、借入環境D Iは前回同様の数値だった。

【8. 理美容サービス業】

当期の業況D Iは▲33.3と前回(▲70.0)より数値が改善した。項目別では売上高D I、営業利益D I、資金繰りD I、借入状況D Iで数値が改善、在庫高D Iは数値が悪化した。

来期の見通しについても、業況D Iが▲83.3(前回▲82.6)と数値が悪化した。項目別では在庫高D Iで改善の見通し、売上高D I、営業利益D I、資金繰りD I、借入環境D Iの数値が悪化の見通しを示している。

【9. 食品繊維工業】

当期の業況D Iは▲75.0と前回(▲50.0)より数値が悪化した。項目別では売上高D Iで数値が改善、営業利益D I、資金繰りD I、在庫高D I、借入状況D Iは数値が悪化した。

来期の見通しについては、業況D Iが▲64.7(前回▲84.6)と数値が改善した。項目別では売上高D I、資金繰りD I、在庫高D I、借入環境D Iで数値の改善の見通し、営業利益D Iは数値が悪化の見通しを示している。

【10. 専門建設業】

当期の業況D Iは▲78.9と前回(▲70.0)より数値が悪化した。項目別では営業利益D Iで数値が改善、在庫高D Iは前回同様の数値、売上高D I、資金繰りD I、借入状況D Iで数値が悪化した。

来期の見通しについては、業況D Iが▲77.8(前回▲89.5)と数値が改善した。項目別では売上高D I、営業利益D I、在庫高D I、借入環境D Iで数値の改善、資金繰りD Iは数値が悪化の見通しを示している。

下段-前回DI値

青-改善 赤-悪化

【産業別業況実績DI】〔期間：平成22年1月～3月実績〕

	全産業	小売商業	卸商業	機械工業	総合建設	運輸交通	金融保険	宿泊飲食	理美容サ	食品繊維	専門建設
業況	▲ 38.3	▲ 60.0	▲ 63.6	23.1	▲ 46.7	▲ 40.0	▲ 23.1	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 75.0	▲ 78.9
	-72.0	-100.0	-52.9	-50.0	-87.5	-87.5	-62.5	-89.5	-70.0	-50.0	-70.0
売上高	▲ 33.0	▲ 53.8	▲ 25.0	18.5	▲ 29.4	▲ 30.4	▲ 6.7	▲ 42.9	▲ 47.4	▲ 50.0	▲ 71.4
	-68.9	-81.3	-42.9	-71.4	-70.0	-80.0	-52.9	-89.5	-63.0	-68.4	-63.6
営業利益	▲ 44.4	▲ 63.0	▲ 46.7	15.4	▲ 60.0	▲ 33.3	▲ 23.1	▲ 40.0	▲ 36.4	▲ 71.4	▲ 82.6
	-71.0	-72.4	-42.9	-68.0	-90.9	-78.9	-57.1	-89.5	-63.0	-60.0	-84.0
資金繰り	▲ 58.4	▲ 83.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 81.8	▲ 41.2	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 16.7	▲ 81.8	▲ 100.0
	-82.8	-85.7	-100.0	-52.9	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-68.4	-69.2	-84.6
在庫高	▲ 70.7	▲ 100.0	▲ 25.0	▲ 27.3	▲ 100.0	▲ 66.7	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 63.6	▲ 80.0
	-54.0	-28.6	-42.9	-33.3	-100.0	-33.3	-100.0	-100.0	-75.0	-40.0	-80.0
借入状況	▲ 9.8	▲ 8.1	▲ 17.2	▲ 25.7	▲ 3.3	▲ 25.0	11.5	▲ 29.4	▲ 17.6	7.4	6.1
	-5.7	-16.3	9.1	-2.9	-10.0	-16.1	0.0	-13.0	-5.7	4.0	-2.9

※借入状況は、数値減少は借入金減少を示し「改善」、数値増加は借入金増加を示し「悪化」と判定。

【産業別業況予想DI】〔期間：平成22年4月時点～向こう3ヶ月予測〕

	全産業	小売商業	卸商業	機械工業	総合建設	運輸交通	金融保険	宿泊飲食	理美容サ	食品繊維	専門建設
業況	▲ 66.7	▲ 88.9	▲ 60.0	▲ 11.1	▲ 71.4	▲ 100.0	▲ 77.8	▲ 25.0	▲ 83.3	▲ 64.7	▲ 77.8
	-75.4	-91.7	-68.4	-30.0	-70.0	-84.6	-62.5	-90.0	-82.6	-84.6	-89.5
売上高	▲ 64.5	▲ 100.0	▲ 57.1	▲ 20.0	▲ 75.0	▲ 100.0	▲ 38.5	▲ 33.3	▲ 84.6	▲ 52.9	▲ 71.4
	-70.3	-79.3	-75.0	4.3	-72.7	-100.0	-52.9	-100.0	-65.5	-80.0	-92.0
営業利益	▲ 71.1	▲ 100.0	▲ 57.1	▲ 36.4	▲ 85.7	▲ 100.0	▲ 63.6	▲ 20.0	▲ 76.5	▲ 88.9	▲ 68.4
	-78.2	-92.0	-90.0	-25.0	-83.3	-100.0	-75.0	-88.2	-73.3	-79.8	-90.9
資金繰り	▲ 74.8	▲ 100.0	▲ 20.0	▲ 42.9	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 14.3	▲ 80.0	▲ 69.2	▲ 81.8
	-81.8	-100.0	-75.0	-23.1	-84.6	-100.0	-100.0	-25.0	-77.8	-73.3	-87.5
在庫高	▲ 66.7	▲ 100.0	▲ 42.9	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0	▲ 100.0	▲ 66.7	▲ 27.3	▲ 77.8
	-61.3	-37.5	-53.8	0.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-71.4	-63.6	-81.8
借入環境	6.1	▲ 14.3	▲ 42.9	▲ 9.1	20.0	50.0	0.0	100.0	▲ 20.0	33.2	40.0
	-14.3	-100.0	20.0	-20.0	14.3	9.1	-50.0	-100.0	23.1	-50.0	-55.6

※借入環境は、数値増加は借入緩和を示し「改善」、数値減少は借入困難を示し「悪化」と判定。

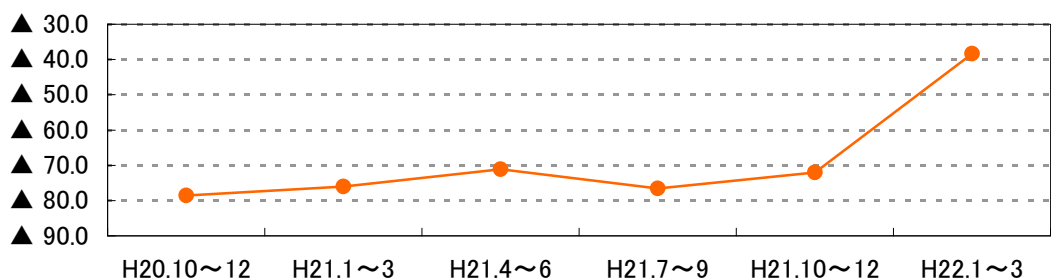
■ 業況判断 ■

【業況DI（全産業）の推移】

	H20.10~12	H21.1~3	H21.4~6	H21.7~9	H21.10~12	H22.1~3	見通し
全産業	▲ 78.6	▲ 76.0	▲ 71.1	▲ 76.6	▲ 72.0	▲ 38.3	▲ 66.7
小売商業	▲ 84.6	▲ 100.0	▲ 57.9	▲ 85.7	▲ 100.0	▲ 60.0	▲ 88.9
卸商業	▲ 100.0	▲ 60.0	▲ 50.0	▲ 52.9	▲ 52.9	▲ 63.6	▲ 60.0
機械工業	-	-	▲ 85.7	▲ 88.2	▲ 50.0	23.1	▲ 11.1
総合建設	-	-	▲ 75.0	▲ 100.0	▲ 87.5	▲ 46.7	▲ 71.4
運輸交通	▲ 83.3	▲ 100.0	▲ 71.4	▲ 100.0	▲ 87.5	▲ 40.0	▲ 100.0
金融保険	▲ 80.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 81.8	▲ 62.5	▲ 23.1	▲ 77.8
宿泊飲食	-	-	▲ 86.7	▲ 75.0	▲ 89.5	▲ 50.0	▲ 25.0
理美容サ	-	-	▲ 53.8	▲ 50.0	▲ 70.0	▲ 33.3	▲ 83.3
食品繊維	-	-	▲ 81.8	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 75.0	▲ 64.7
専門建設	-	-	▲ 47.4	▲ 62.5	▲ 70.0	▲ 78.9	▲ 77.8

平成22年4月現在

【業況DIの推移(全産業)】



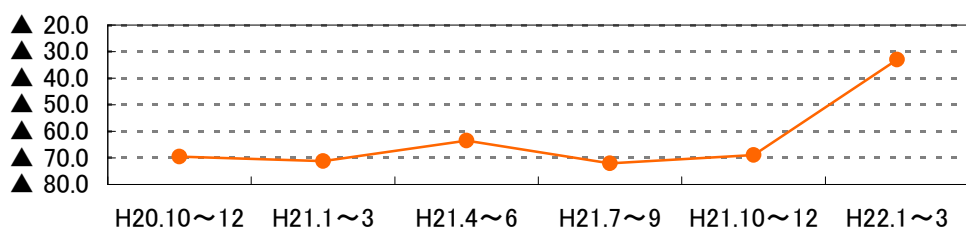
■ 売上（受注・出荷） ■

【売上DI（全産業）の推移】

	H20.10~12	H21.1~3	H21.4~6	H21.7~9	H21.10~12	H22.1~3	見通し
全産業	▲ 69.5	▲ 71.2	▲ 63.5	▲ 72.0	▲ 68.9	▲ 33.0	▲ 64.5
小売商業	▲ 71.4	▲ 87.5	▲ 36.8	▲ 85.7	▲ 81.3	▲ 53.8	▲ 100.0
卸商業	▲ 84.6	▲ 84.6	▲ 46.7	▲ 33.3	▲ 42.9	▲ 25.0	▲ 57.1
機械工業	-	-	▲ 86.2	▲ 100.0	▲ 71.4	18.5	▲ 20.0
総合建設	-	-	▲ 46.7	▲ 71.4	▲ 70.0	▲ 29.4	▲ 75.0
運輸交通	▲ 71.4	▲ 85.7	▲ 75.0	▲ 100.0	▲ 80.0	▲ 30.4	▲ 100.0
金融保険	▲ 50.0	▲ 71.4	▲ 73.3	▲ 57.1	▲ 52.9	▲ 6.7	▲ 38.5
宿泊飲食	-	-	▲ 86.7	▲ 83.3	▲ 89.5	▲ 42.9	▲ 33.3
理美容サ	-	-	▲ 23.1	▲ 41.2	▲ 63.0	▲ 47.4	▲ 84.6
食品繊維	-	-	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 68.4	▲ 50.0	▲ 52.9
専門建設	-	-	▲ 71.4	▲ 86.7	▲ 63.6	▲ 71.4	▲ 71.4

平成22年4月現在

【売上DI(全産業)の推移】



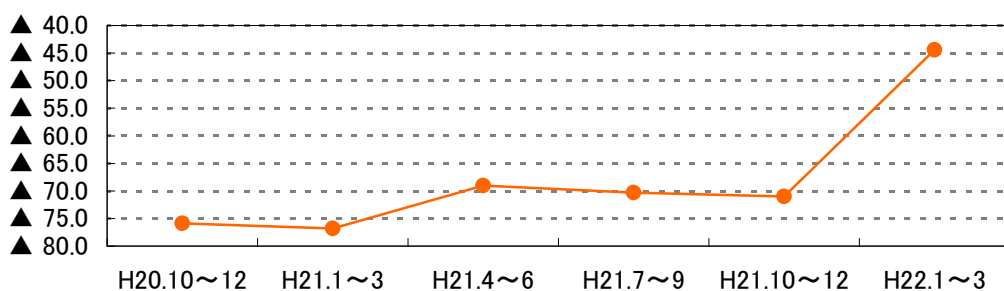
■ 営業利益 ■

【営業利益DI（全産業）の推移】

	H20.10~12	H21.1~3	H21.4~6	H21.7~9	H21.10~12	H22.1~3	見通し
全産業	▲ 75.9	▲ 76.8	▲ 69.0	▲ 70.3	▲ 71.0	▲ 44.4	▲ 71.1
小売商業	▲ 85.7	▲ 88.8	▲ 42.9	▲ 83.3	▲ 72.4	▲ 63.0	▲ 100.0
卸商業	▲ 83.3	▲ 60.0	▲ 63.6	▲ 40.0	▲ 42.9	▲ 46.7	▲ 57.1
機械工業	-	-	▲ 80.0	▲ 81.8	▲ 68.0	15.4	▲ 36.4
総合建設	-	-	▲ 57.1	▲ 77.8	▲ 90.9	▲ 60.0	▲ 85.7
運輸交通	▲ 73.3	▲ 86.7	▲ 77.8	▲ 81.8	▲ 78.9	▲ 33.3	▲ 100.0
金融保険	▲ 77.8	▲ 77.8	▲ 85.7	▲ 69.2	▲ 57.1	▲ 23.1	▲ 63.6
宿泊飲食	-	-	▲ 88.2	▲ 69.2	▲ 89.5	▲ 40.0	▲ 20.0
理美容サ	-	-	▲ 41.2	▲ 28.6	▲ 63.0	▲ 36.4	▲ 76.5
食品繊維	-	-	▲ 63.6	▲ 69.2	▲ 60.0	▲ 71.4	▲ 88.9
専門建設	-	-	▲ 81.0	▲ 100.0	▲ 84.0	▲ 82.6	▲ 68.4

平成22年4月現在

【営業利益DI（全産業）の推移】



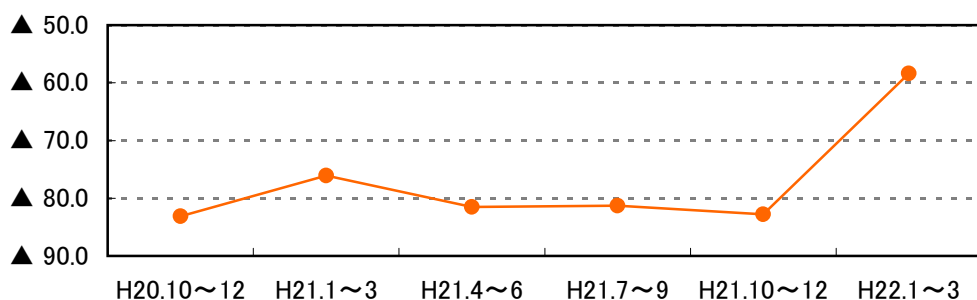
■ 資金繰り ■

【資金繰りDI（全産業）の推移】

	H20.10~12	H21.1~3	H21.4~6	H21.7~9	H21.10~12	H22.1~3	見通し
全産業	▲ 83.1	▲ 76.1	▲ 81.5	▲ 81.3	▲ 82.8	▲ 58.4	▲ 74.8
小売商業	▲ 80.0	▲ 86.7	▲ 71.4	▲ 71.4	▲ 85.7	▲ 83.3	▲ 100.0
卸商業	▲ 60.0	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 71.4	▲ 100.0	▲ 33.3	▲ 20.0
機械工業	-	-	▲ 100.0	▲ 85.7	▲ 52.9	▲ 33.3	▲ 42.9
総合建設	-	-	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 81.8	▲ 100.0
運輸交通	▲ 83.3	▲ 100.0	▲ 60.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 41.2	▲ 100.0
金融保険	▲ 100.0	▲ 33.3	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 100.0
宿泊飲食	-	-	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 66.7	▲ 14.3
理美容サ	-	-	▲ 60.0	▲ 25.0	▲ 68.4	▲ 16.7	▲ 80.0
食品繊維	-	-	▲ 77.8	▲ 60.0	▲ 69.2	▲ 81.8	▲ 69.2
専門建設	-	-	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 84.6	▲ 100.0	▲ 81.8

平成22年4月現在

【資金繰りDIの推移】



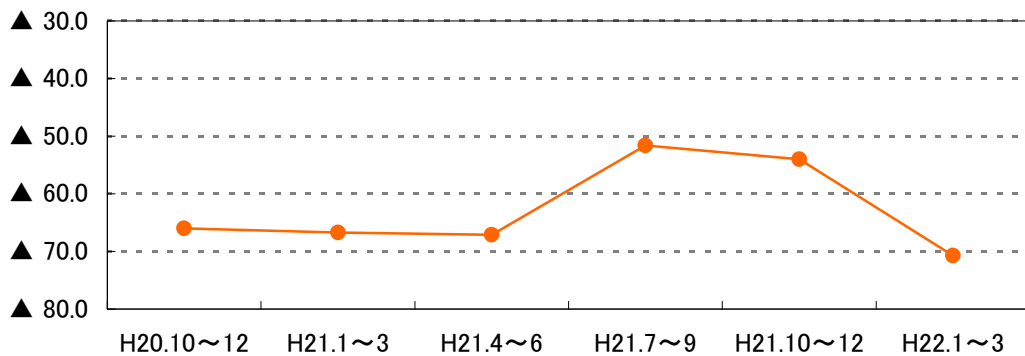
■在庫高■

【在庫高DI（全産業）の推移】

	H20.10~12	H21.1~3	H21.4~6	H21.7~9	H21.10~12	H22.1~3	見通し
全産業	▲ 66.0	▲ 66.7	▲ 67.1	▲ 51.6	▲ 54.0	▲ 70.7	▲ 66.7
小売商業	▲ 14.3	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 81.8	▲ 28.6	▲ 100.0	▲ 100.0
卸商業	▲ 71.4	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 42.9	▲ 25.0	▲ 42.9
機械工業	-	-	▲ 46.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 27.3	▲ 50.0
総合建設	-	-	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
運輸交通	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 20.0	▲ 100.0	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 100.0
金融保険	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0
宿泊飲食	-	-	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
理美容サ	-	-	▲ 33.3	▲ 60.0	▲ 75.0	▲ 100.0	▲ 66.7
食品繊維	-	-	▲ 100.0	0.0	▲ 40.0	▲ 63.6	▲ 27.3
専門建設	-	-	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 80.0	▲ 80.0	▲ 77.8

平成22年4月現在

【在庫高DI(全産業)の推移】



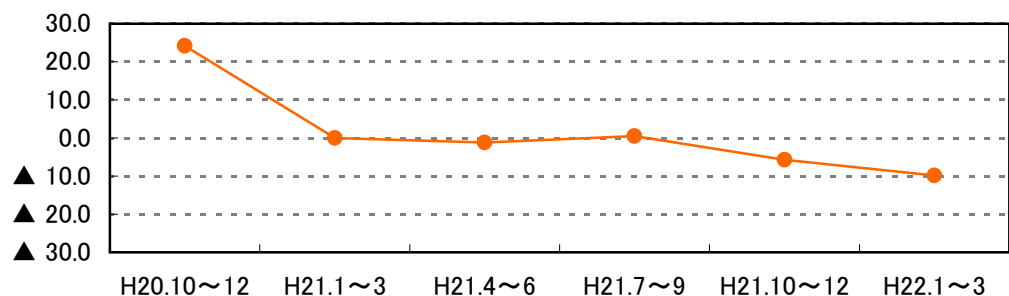
■借入状況■

【借入状況DI（全産業）の推移】

	H20.10~12	H21.1~3	H21.4~6	H21.7~9	H21.10~12	H22.1~3	見通し
全産業	24.2	0.0	▲ 1.2	0.5	▲ 5.7	▲ 9.8	6.1
小売商業	50.0	33.3	4.2	▲ 100.0	▲ 16.3	▲ 8.1	▲ 14.3
卸商業	▲ 11.1	▲ 33.3	▲ 7.7	▲ 7.4	9.1	▲ 17.2	▲ 42.9
機械工業	-	-	40.6	24.0	▲ 2.9	▲ 25.7	▲ 9.1
総合建設	-	-	4.5	27.8	▲ 10.0	▲ 3.3	20.0
運輸交通	40.0	▲ 11.1	▲ 26.3	▲ 5.6	▲ 16.1	▲ 25.0	50.0
金融保険	33.3	0.0	▲ 12.0	4.5	0.0	11.5	0.0
宿泊飲食	-	-	12.5	▲ 20.0	▲ 13.0	▲ 29.4	100.0
理美容サ	-	-	▲ 10.7	▲ 8.3	▲ 5.7	▲ 17.6	▲ 20.0
食品繊維	-	-	▲ 9.5	0.0	4.0	7.4	33.2
専門建設	-	-	▲ 18.8	11.5	▲ 2.9	6.1	40.0

平成22年4月現在

【借入状況DI(全産業)の推移】

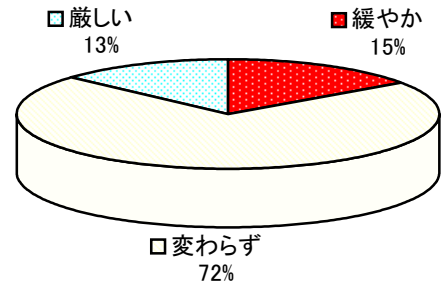


* 参考調査（全産業）

1 借入環境

	緩やか	変わらず	厳しい	合計
回答	35	165	31	231
割合	15.2%	71.4%	13.4%	100.0%

1借入の環境について



2 設備投資

※設備投資をしたか

	した	しない	回答数
H20. 10月～12月	31	141	172
H21. 1月～3月	18	145	163
H21. 4月～6月	33	220	253
H21. 7月～9月	28	182	210
H21. 10月～12月	49	256	305
H22. 1月～3月	40	239	279
割合	16.1%	83.9%	

※向こう3ヶ月内に設備投資の予定があるか

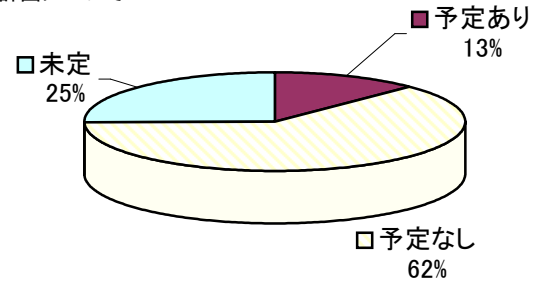
	する	しない	回答数
H20. 10月～12月	17	155	172
H21. 1月～3月	42	112	154
H21. 4月～6月	36	217	253
H21. 7月～9月	33	176	209
H21. 10月～12月	34	276	310
H22. 1月～3月	36	250	286
割合	11.0%	89.0%	

3 雇用

※現在の従業員数はどうか

	多い	適正	少ない
回答	50	203	29
割合	17.7%	72.0%	10.3%

4採用計画について



4 採用計画について

	予定あり	予定なし	未定
回答	36	179	73
全体割合	12.5%	62.2%	25.3%

5 全体的な経営環境はどうか（自由回答）

		+	割合		-	割合
①天候の影響	好影響	24	20.2%	悪影響	95	79.8%
②販売価格	上昇	22	11.6%	低下	168	88.4%
③冬季賞与	支給	39	16.8%	なし	193	83.2%
④時間外労働	増加	32	19.0%	減少	136	81.0%
⑤人件費比率	増加	88	49.7%	減少	89	50.3%
⑥競争	緩和	3	1.4%	激化	208	98.6%
⑦現金売上	上昇	27	17.1%	低下	131	82.9%
⑧代金回収期間	短縮	30	23.8%	延長	96	76.2%
⑨仕入値	上昇	111	75.0%	低下	37	25.0%
⑩当期利益	好転	44	22.4%	悪化	152	77.6%

5 経営環境

